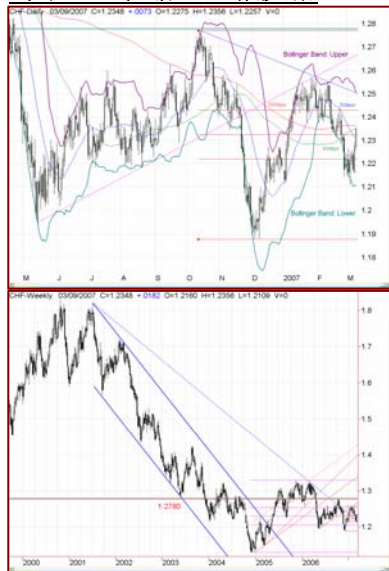


【先週の動きと今後のポイント】

対米ドル相場：大幅反落



・ 週末引値：1.2348（前週末比-1.5%、昨年末比-1.3%）
 前週の1.3%上昇の後、先週は大幅に下落しています。2月末対比では1.2%下落しています。

「米国経済指標等」

- ・ 6日（火）：2月ISM非製造業景況指数54.3、市場予想を下回る。第4四半期単位労働コスト+6.6%（前年同期比）、市場予想を大幅に上回る。1月製造業受注指数-5.6%（前月比）、市場予想を下回る。
 - ・ 9日（金）：1月貿易収支591億ドルの赤字、市場予想通り。2月失業率4.5%、前月比0.1%ポイント低下。市場予想は横ばい。2月非農業部門雇用者数9万7千人の増加（1月は11万1千人増から14万6千人増へ上方修正）。ほぼ市場予想通り。
- 今週は2月小売売上高、第4四半期経常収支、2月PPI、2月CPIの発表が予定されています。

「スイス経済指標等」

- ・ 6日（火）：第4四半期GDP+0.5%（前期比）、+2.2%（前年同期比）、市場予想をやや下回る。
- ・ 7日（水）：2月失業率が3.0%、市場予想通り。
- ・ 8日（木）：2月消費者物価が+0.2%（前月比）、±0%（前年同月比）、市場予想を下回る。

「テクニカル分析等」

週初に昨年12月以来の米ドル安値まで下落したものの、その後はもみ合いとなり、スイス消費者物価が市場予想より弱かったことや、米雇用統計による米ドル買い戻し圧力の強まりにより、米ドルは上昇に転じています。20日移動平均線を上抜け、週末引値は60日および200日近辺となっています。ボリンジャーバンド（2シグマ）は下方シフトしながらやや縮小傾向となっており、レンジ相場となる可能性が高まっています。週足は5週間ぶりの陽線となっていますが、前週の大きな陰線を包み込んでいます。当面の下落圧力は後退した可能性が高まっています。

対円相場：小幅続落

・ 週末引値：95円80銭（前週末比-0.2%、昨年末比-1.9%）
 前週の2.3%下落に続いて、先週は小幅続落となっています。2月末対比では1.5%下落しています。

「テクニカル分析等」

週初に世界的な株価下落が拡大したことで急落し、200日移動平均線をいったん下回ったものの、その後は反発傾向に転じています。ボリンジャーバンド（2シグマ）は急拡大しており、不安定な展開が続くことを示唆しています。週足は長い下ヒゲを伴った陽線となっていますが、前週の陰線より一段下がった位置にあり、下げ止まったことを確認するためには、今週が先週より高い位置取りとなるなどが必要になりそうです。反対に先週の下ヒゲが浸食される展開となれば、再び下値を試す動きが強まる可能性が高まるでしょう。

（石井 貢）

